

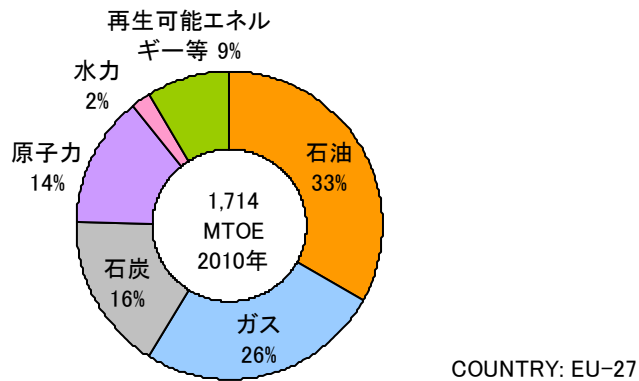
2-1 EU

1. サマリー

1. エネルギー事情

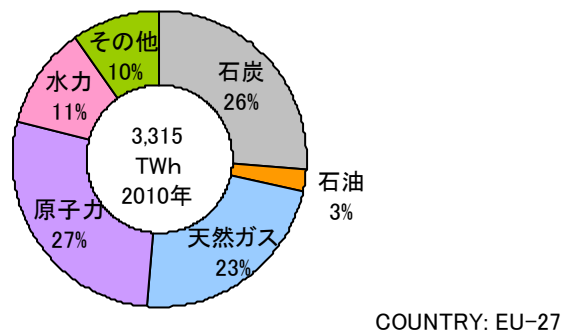
- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 1,714 百万 TOE (日本の 3.7 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 3.42TOE (日本の 0.95 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2009年) : 49%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 3,659.54 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 3.2 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 7.29CO₂ 換算 ton (日本の 0.81 倍)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 10.8 年、天然ガス 11.8 年、石炭 97 年

一次エネルギー供給構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- 2011年2月にEUの組織変更が行われ、エネルギー問題は従来の運輸・エネルギー総局から独立したエネルギー総局が、気候変動問題は従来の環境総局等の関係部署を統合した気候行動総局が責任をもつこととなった。

(2) 基本政策

- EUのエネルギー政策の基本目標は、全ての消費者に対して適切な価格の下でエネルギー供給が保障され、かつ環境と欧州エネルギー市場の健全な競争が促進されることにある。

(3) 最近の動向

- 2011年11月、欧州委員会は低炭素化社会の実現に向けた「エネルギーロードマップ2050」を発表した。これは、2050年までに温室効果ガス80%（1990年比）を削減するという目標を達成するための道筋を示したものである。同報告書では、再生可能エネルギーを最大限活用するとともに、エネルギー効率の向上、火力発電へのCCS設置等が必要と指摘している。
- 2012年1月、EU加盟27カ国は外相理事会で、核開発疑惑の強まるイランへの経済制裁としてイラン産原油の禁止を正式に決定した。新規契約は即時禁止とし、同年7月1日から既存契約を含めて完全に禁止した。また、イラン中央銀行がEU域内に保有する資産の凍結や、イランとの貴金属取引の禁止についても合意された。
- 2012年4月にはEU加盟国の大使級会合において、2011年から議論が続けられているエネルギー効率指令案の数値目標などを緩和する方向で合意した。同指令案では、エネルギー供給事業者に対する年間1.5%の供給削減義務、毎年3%の公共建築物に対する省エネ改修の義務化など、2020年にエネルギー効率の改善を通じて一次エネルギー供給を20%削減するための政策が含まれている。加盟国政府は数値目標を含んだ省エネ政策導入の義務化に対して、財政負担増を理由に反対しており、欧州委員会、欧州議会、加盟国政府による三者協議の合意達成は難航が予想される。
- また、2012年4月26日には、福島事故を受けてEUが域内の原子力発電所を対象に行っているストレステストの国別報告書のピアレビュー報告書を欧州原子力安全規制機関グループ（ENSREG）が提出した。当初、2012年6月までに欧州委員会から欧州理事会へ最終報告書が提出される予定であったが、同年9月まで先送りされることになった。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2012年6月7日、欧州委員会のOettinger委員（エネルギー担当）と枝野経済産業大臣は、同日開催された日・EU定期エネルギー対話において、相互関係全般における同分野の重要性を認識し、二者間のエネルギー協力を再活性化することに合意した。

2. 主要エネルギー指標

(EU 27 カ国)

(1)	一次エネルギー供給量	1,655.79 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	3.42 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.12 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	49 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	3,659.54 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	7.29 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	16 %
	石油	33 %
	ガス	26 %
	原子力	14 %
	その他	11 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	51 %
(9)	石油の輸入依存度	83 %
(10)	輸入原油の中東依存度	19.2 %
(11)	原油輸入先	
	第1位	ロシア
	第2位	ノルウェー
	第3位	サウジアラビア

(出所) : (1)～(4)および(7)～(9)は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

(5)～(6)は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012 Edition

(10)～(11)は IEA, Oil Information 2012 より EU 加盟国のうち OECD 加盟国 21 カ国の合算値